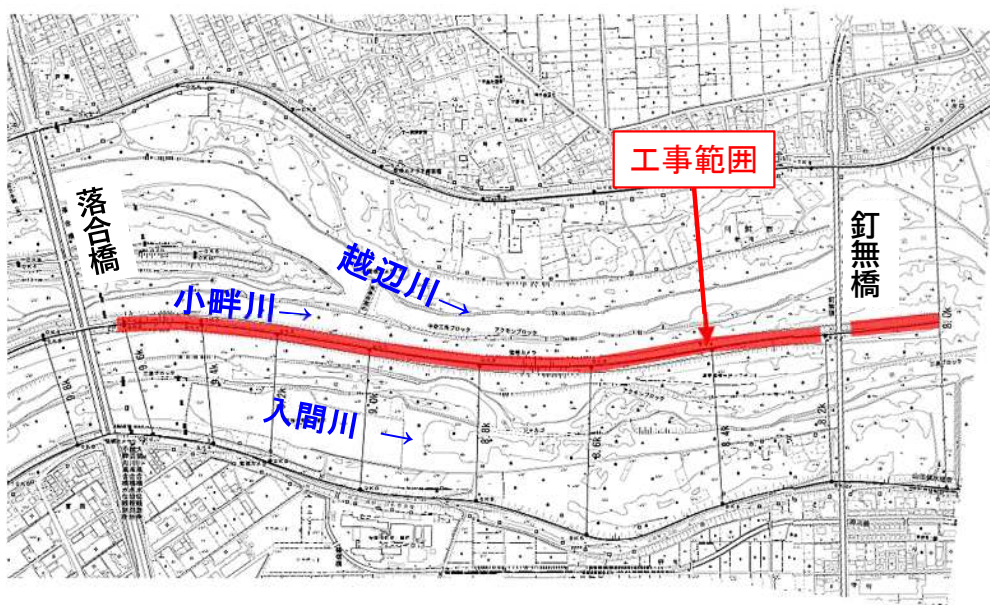


斜め写真

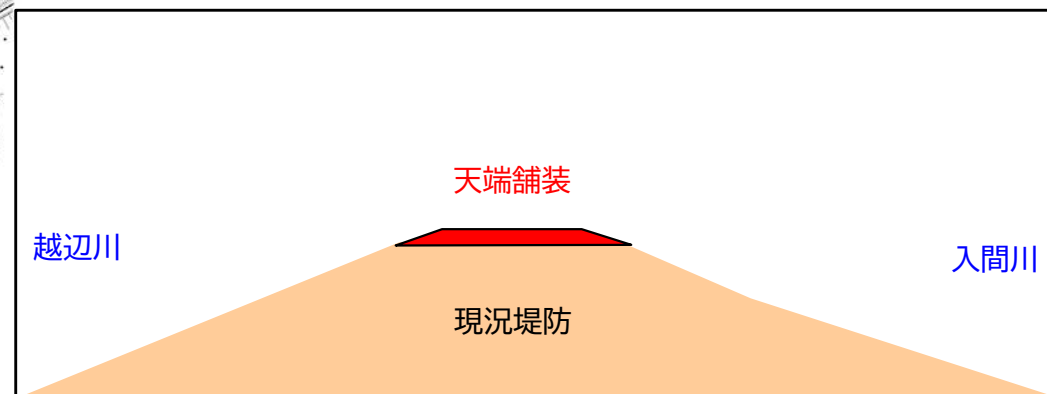



○着 手:令和4年11月
○完了予定:令和5年3月末

平面図



標準断面図



凡例
 工事範囲

工事の目的

・堤防の危機管理型ハード対策として、越水等が発生した場合でも、堤防が決壊するまでの時間を少しでも引き延ばすため、堤防天端を舗装する。



「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより



写真① 上流端から下流方向



写真② 下流側から上流方向

主な環境

- ・調査範囲内は、主に草地、堤防で構成されている。
- ・堤防の草地は、主にヤブカンゾウ、ノジスミレなどが優占し、特定外来生物のアレチウリも生育している。また、ハグロトンボやチョウトンボなどの昆虫類、ウグイスやホオジロなどの鳥類も生息している。
- ・調査範囲周辺の樹林地では、重要種(鳥類)が確認されている。

環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施する。
- ・工事施工範囲周辺で確認された重要種や在来種情報については、工事施工時に踏み荒らしなどをしないように施工業者と情報を共有する。
 - ・重要種(鳥類)については生息状況を定期調査し、状況を把握しながら施工する。